

旧槇野地小学校校舎

久慈郡大子町槇野地2469

JR水郡線の常陸大子駅から、国道461号線・県道160号線を経由して北へ約9キロメートルいくと、季節によっては、多くの観光客が訪れる観光施設「おやき学校」があります。この「おやき学校」は、廃校となった槇野地小学校の校舎を再利用して造られた施設です。ここでは、



郷土料理である「おやき」の製造・販売、おやきづくりの体験教室などが行われています。

槇野地小学校は明治7年（1874）5月20日、旧佐原村立左貫小学校槇野地分校として創立しました。明治12年（1879）の火災を機に、現在地に移転、校舎を新築し、大正15年（1926）に佐原村立佐原尋常高等小学校槇野地分校となり、昭和31年（1956）には大子町立槇野地小学校として独立しました。平成8年（1996）、佐原小学校へ統合することにより閉校しました。平成10年（1998）に改修され、「おやき学校」として活用されています。

現存している校舎は、昭和25年（1950）に竣工したものです。木造平屋建、切妻造、瓦葺で、桁行58メートルの長大なもので、建築面積553平方メートルあります。下見板張外壁の正面中央に切妻屋根の玄関、ガラス窓を二段に並べる外観は、当初の学校建築の形式をよく残しています。

現在、東側を売店やレストランとし、西側の昭和36年（1961）に増築した部分を製造工場とするなど、内部は大きく改修されており、当初の内部の様子がよくわかるのは、かつての職員室のみとなっています。

平成30年（2018）5月10日、国から登録有形文化財（建造物）に指定され、地域の近代化を牽引した施設として広く親しまれ、町内外から多くの人が訪れる場所となっています。

茨城教育 第八七一号

令和五年二月二十日発行

編集責任者 鹿志村 則男

発行人 鹿志村 則男

発行所 一般社団法人 茨城県教育会

水戸市見和 一三五六―二

電話 〇二九―三二二―二七四七

印刷所 有限会社山田軽印刷所